

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークの理論と方法 I (4 単位)		3. 科目番号	SSMP2157 SNMP3357 SCMP2157 SBMP2157 SPMP2157 SSMP3157 PSMP2457
2. 授業担当教員	三田 真外			
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、発表、ロールプレイ	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	<p>本科目は、「ソーシャルワークの基盤と専門職」で学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理などを前提として、個人、家族、集団、また地域社会といったクライアント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。</p> <p>特に、分野を問わずソーシャルワーク実践に不可欠なソーシャルワークプロセス（相談援助の展開過程）と、様々な実践モデル及びアプローチについての理解促進を軸に、その過程において必要とされる面接技術や記録技術を学習する。また、ケアマネジメントや集団を活用した支援、コミュニティワーク等の理論と展開方法、専門職に必要な、スーパービジョンやコンサルテーションの専門知識と技術について学習する。なお、本講義は社会福祉士国家試験及び精神保健福祉士国家試験の「相談援助の理論と方法」に該当する科目である。</p>			
8. 学習目標	<p>下記の目標を達成することが期待される</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人と環境との相互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。</li> <li>2. ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。</li> <li>3. ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。</li> <li>4. コミュニティワークの概念とその展開について理解する。</li> <li>5. ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。</li> </ol>			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>レポート課題 (1500字以上) と確認テストを数回実施する。 ※レポートの作成方法・構成等の詳細については授業にて説明する。</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 『ソーシャルワークの理論と方法 (共通科目) 最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座共通科目⑩』中央法規出版、2021 年 1 月</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5つの目標について理解し、説明することができたか。(知識・理解)</li> <li>・5つの目標について思考し、考察を深めることができたか。(思考・判断・実践)</li> <li>・5つの目標について関心を深め、意欲的に取り組むことができたか。(関心・意欲・態度)</li> </ul> <p>○評定の方法 レポート課題 (25%) 定期試験 (50%)、受講態度 (25%) による総合的評価</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は上記の目的のため、下記の事を守ることが期待されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①遅刻、欠席の無いようにすること。やむを得ず欠席する(した)場合は書面で教員に届け出ること。</li> <li>②レポートの提出期限を遵守すること。提出期限後の提出は減点の対象となる。</li> <li>③私語や居眠り、学習テーマ以外の作業、携帯電話の使用、その他授業を妨げる行為を禁止する。違反者は受講態度で減点の対象となる。</li> </ol>			
13. オフィスアワー	初回の講義で発表する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション シラバス、講義概要、試験・レポート課題についての説明	事前学習	シラバスを持参する。事前に講義概要、シラバスについて目を通しておく。	
		事後学習	ソーシャルワークの理論と方法 I のねらいについて講義用ノートにまとめる。	
第2回	人と環境の相互作用に関する理論とソーシャルワーク (1) ソーシャルワーカーが学ぶ理論・システム理論・生態学理論	事前学習	教科書の pp. 1~21 を読んでくること。	
		事後学習	ソーシャルワークの理論について、講義の要点をノートにまとめる。	
第3回	人と環境の相互作用に関する理論とソーシャルワーク (2) バイオ・サイコ・ソーシャルモデル	事前学習	教科書の pp. 22~27 を読んでくること。	
		事後学習	ソーシャルワークモデルについて、講義の要点をノートにまとめる。	
第4回	人と環境の相互作用に関する理論とソーシャルワーク (3) ミクロ・メゾ・マクロソーシャルワーク	事前学習	教科書の pp. 28~41 を読んでくること。	
		事後学習	ミクロ・メゾ・マクロのソーシャルワーク視点について、講義の要点をノートにまとめる。	

第5回	ソーシャルワークの過程（1） ケースの発見・インターク	事前学習	教科書の pp. 42～57 を読んでくること。
		事後学習	ケースの発見方法とインタークについて、講義の要点をノートにまとめる。
第6回	ソーシャルワークの過程（2） アセスメント	事前学習	教科書の pp. 58～75 を読んでくること。
		事後学習	アセスメントについて、講義の要点をノートにまとめる。
第7回	ソーシャルワークの過程（3） プランニング	事前学習	教科書の pp. 76～93 を読んでくること。
		事後学習	プランニングについて、講義の要点をノートにまとめる。
第8回	ソーシャルワークの過程（4） 支援の実施とモニタリング	事前学習	教科書の pp. 94～105 を読んでくること。
		事後学習	支援実施とモニタリングについて、講義の要点をノートにまとめる。
第9回	ソーシャルワークの過程（5） 終結・評価・アフターケア	事前学習	教科書の pp. 106～119 を読んでくること。
		事後学習	支援の終結と結果評価、アフターケアについて、講義の要点をノートにまとめる。
第10回	中間まとめ① 確認テスト・グループディスカッション	事前学習	第1回から第9回までの講義要点の再確認をしておくこと。
		事後学習	ここまでの講義内容を整理し、理解を深めること。
第11回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ（1） 治療モデル・ストレングスモデル・生活モデル	事前学習	教科書の pp. 120～127 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルワークの実践モデルについて、講義の要点をノートにまとめる。
第12回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ（2） 心理社会的アプローチ・機能的アプローチ・問題解決アプローチ・課題中心アプローチ	事前学習	教科書の pp. 128～141 を熟読し、モニタリングについて理解する。
		事後学習	ソーシャルワークアプローチについて、講義の要点をノートにまとめる。
第13回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ（3） 行動変容アプローチ・認知アプローチ・危機介入アプローチ・エンパワメントアプローチ	事前学習	教科書の pp. 142～159 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルワークアプローチについて、講義の要点をノートにまとめる。
第14回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ（4） ナラティブアプローチ・解決志向アプローチ・さまざまなアプローチ	事前学習	教科書の pp. 160～185 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルワークアプローチについて、講義の要点をノートにまとめる。
第15回	ソーシャルワークの面接 面接の意義と目的・方法	事前学習	教科書の pp. 186～209 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルワークの面接について、講義の要点をノートにまとめる。
第16回	ソーシャルワークの記録 記録の意義と目的・内容	事前学習	教科書の pp. 210～239 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルワークの記録について、講義の要点をノートにまとめる。
第17回	ケアマネジメント（1）原則	事前学習	教科書の pp. 240～244 を読んでくること。
		事後学習	ケアマネジメントの原則について、講義の要点をノートにまとめる。
第18回	ケアマネジメント（2） 意義と方法	事前学習	教科書の pp. 245～255 を読んでくること。
		事後学習	ケアマネジメントの意義と方法について、講義の要点をノートにまとめる。
第19回	グループを活用した支援（1） 意義と目的	事前学習	教科書の pp. 256～267 を読んでくること。
		事後学習	グループワークの意義と目的について、講義の要点をノートにまとめる。
第20回	グループを活用した支援（2） 展開過程・セルフヘルプグループ	事前学習	教科書の pp. 268～279 を読んでくること。
		事後学習	グループワークの展開過程について、講義の要点をノートにまとめる。
第21回	中間まとめ② 確認テスト・グループディスカッション	事前学習	第10回から第20回までの講義要点の再確認をしておくこと。
		事後学習	ここまでの講義内容を整理し、理解を深めること。
第22回	コミュニティワーク（1） コミュニティワークの意義と目的	事前学習	教科書の pp. 280～285 を読んでくること。
		事後学習	コミュニティワークの意義と目的について、講義の要点をノートにまとめる。
第23回	コミュニティワーク（2） コミュニティワークの展開	事前学習	教科書の pp. 286～294 を読んでくること。
		事後学習	コミュニティワークの展開について、講義の要点をノートにまとめる。
第24回	コミュニティワーク（3） コミュニティワークの理論的系譜とモデル	事前学習	教科書の pp. 295～301 を読んでくること。
		事後学習	コミュニティワークの理論的系譜とモデルについて、講義の要点をノートにまとめる。
第25回	ソーシャルアドミニストレーション ソーシャルアドミニストレーションの概念と意義・実践モデル	事前学習	教科書の pp. 302～317 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルアドミニストレーションの概念と意義・実践モデルについて、講義の要点をノートにまとめる。

第26回	ソーシャルアクション ソーシャルアクションの概念と意義・コミュニティ オーガナイズ	事前学習	教科書の pp. 318～339 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルアクションの概念と意義について、講義の要点をノートにまとめる。
第27回	スーパービジョンとコンサルテーション (1) スーパービジョンの意義・目的・機能	事前学習	教科書の pp. 340～344 を読んでくること。
		事後学習	スーパービジョンの意義・目的・機能について、講義の要点をノートにまとめる。
第28回	スーパービジョンとコンサルテーション (2) スーパービジョン関係・形態・実施	事前学習	教科書の pp. 345～350 を読んでくること。
		事後学習	スーパービジョン関係・形態・実施について、講義の要点をノートにまとめる。
第29回	スーパービジョンとコンサルテーション (3) コンサルテーションの意義・目的・方法	事前学習	教科書の pp. 351～354 を読んでくること。
		事後学習	コンサルテーションの意義・目的・方法について、講義の要点をノートにまとめる。
第30回	まとめ	事前学習	これまでの学習を振り返り、疑問点を箇条書きにする。
		事後学習	学期末試験に向け、資料の整理と学習内容の確認を行う。
期末試験			